



今日の MommyKayo おうち英語 Insight は  
【垂れ流しおうち英語にご用心】と題して  
インプットにフォーカスした内容をお届けします。

2021年7月15日投稿 note 記事に加筆する形で  
インプットにおいて注意すべき事柄についてお話させていただければ♪

インプットからスタートするおうち英語ですが  
インプットの質・量の可否はアウトプットを促す時期になって  
表面化してくることが多いもの。。。

アウトプットというのは  
それまで続けてきたおうち英語が  
初めて目に見える形となるということです。

子どもが英語を話している姿を見るということで、  
これまでの取り組みが正しかったか否かがわかるところもあるわけで、  
親としてはおうち英語においてアウトプットに  
最大の関心を寄せるのはある意味当然ですよ。

オンライン英会話スクールはその手軽さから、  
おうち英語っ子のアウトプットの場として選ばれることが多く、  
私も主宰するオンライン英会話スクールで  
たくさんのおうち英語っ子のアウトプットのプロセス、問題等に  
開校以来10年間接してきました。

アウトプットが上手くでない原因として  
「インプット不足」「子供の個性・性格」  
などが挙げられるかと思いますが、  
こちらのケースは比較的対処しやすいかと。

一方、  
「こんなにやってるのになんでー?!」  
なんでアウトプットが出てこないの?!

(もしくは)たどたどしい英語なの?!」という  
一番親としてはフラストレーションが  
溜まりやすいパターンもあるのですよね。。。

今日はそのケースについて考察してみようかと思えます。

#### ■目次

- こんなにおうち英語頑張っているのになんで?!
- 時間は十分だけど・・・
- 言語習得も結局は反復なのだと思う
- かけ流して反復
- No more インプットの垂れ流し!

#### ●こんなにおうち英語頑張っているのになんで?!

主宰するオンライン英会話スクールにおいて、  
コンサルでおうち英語のお悩みを伺っていますが、  
私の運営するスクールは英会話スクールということから、  
寄せられるお悩みもそのほとんどがアウトプットに関することです。

つまりのところ、

「子どもが英語を思うように話せません。」であるとか

「子どもが英語を話そうとしません。」

という内容がご相談のそのほとんどを占めます。

ご相談を受けた際には、

これまでの取り組み内容、お子さんの性格などしっかりと聞き取りをしたうえで、

ご要望があれば実際のレッスンでの様子を拝見しながら、

総合的にお話しさせていただくようにしているのですが、

たいていの場合は「インプット不足」であったり、

「お子さんの趣味趣向とレッスン内容のミスマッチ」

が原因であったりするものです。

しかし中には、聞き取り調査から【インプット十分】と思われる方に

【お子さんの趣味趣向とレッスン内容をマッチさせて】レッスンをご提供しても  
思うように発話が伸びないパターンがあったりします。

その場合は、また再び状況の聞き取りに駒を戻すこととなり、  
お話を改めて深く伺っていくことになるのですが、  
聞き取りしている私としても  
「そんなにインプットを頑張ってこられたのになんで?!」  
と首をかしげたくなるパターンも実際にあります。。。

親御さん自身も、インプットに、アプトプットにと日夜、  
長年とても頑張ってこられた自負があるため  
「ホントになんででしょう・・・」とため息交じりになってしまうんですね・・・。

ため息をついているだけでは話が前に進みませんので、  
このケースについて考えられる原因をお話してみます。

#### ●時間は十分だけど・・・

しかし、よくよく話を伺っていくと、  
確かに在宅している時間の大半を英語に割り、  
インプットにとっても労力を注いでこられたということはわかってくるのですが、  
インプット素材の方に問題があることが浮かび上がって来たりします。

インプット素材のその質が悪いわけではないのです。

このタイプの方は情報収集の能力も高く、  
おうち英語への情熱も素晴らしく、  
その年齢に応じたインプット素材を吟味してしっかりと与えておられることが多いです。

でも・・・。

その情報収集能力が裏目に出ることがあるのか、  
一時に与えたい量が多すぎて  
子どもが消化不良を起こしてしまっているケースがあるのではないかと・・・  
と思うようになってきました。

SNS などから得た情報で

「アレもいいらしい。」「コレもいいらしい。」と

いろいろなインプット素材を

次から次へと子どもに与えてみるのはいいのですが、

時間は有限なので、与えたい素材が多い場合、

結局その素材に触れられる回数を減らすより仕方がなくなります。

例えば、英語アニメにしても、

同じ回のお話を見せる回数が1回ポツキリだったり、数えるほどだったり。

このように無意識的に「アレもコレも」

という状態になってしまっているパターンもあれば、

意図的に「アレもコレも」にされている方もいらっしゃるなあとは分析しております。

意図的に「アレもコレも」にされている方の心理としては、

【たくさんのお言葉・表現に触れれば触れるだけ、

子どもの英語も豊かなものになっていくに違いない。

だから量をたくさん与えなければ!】

と思っておられるのではないかと…と思います。

無意識派と意図的派とでは、

その背景は異なるものの、

結局時間は有限というところは同じで、

【一度に多くを子どもに与えすぎ】と

いうことになっているのではないかと…と思うのです。

### ● 言語習得も結局は反復なのだと思う

人の能力はそれぞれであるため、

決して一概に論ずることはできないのですが、

たいていの場合は、1度や2度さらっと触れたこと、

見聞きしたものを人は覚えてはられないのではないかと…思うのです。

一度会ったくらいの方は名前も顔も覚えられないですよね？

(もちろん1回で覚えちゃう人もいますけどね…)

学力向上に効果があるとされる陰山メソッドで  
反復学習は有名かと思いますが、  
やはり何度も同じものに触れること、繰り返すことで  
記憶に強く刻み込まれるということは万人に共通するのではないかと思います。

乳幼児が言葉を苦勞せず身に着けていくことができるのは、  
もちろん脳の可塑性が高いことも大きな要因だと思いますが、  
もう一つの大きな要因として【繰り返しを厭わないこと】だと私は思っています。

大人だといくら好きでも  
同じドラマや映画を短期間に何度も何度も繰り返し見れば、  
段々苦痛になってきたりして集中して見ることができないものです。

しかし、子どもはその点違います。

同じものを何度も何度も、しかも喜んで見ることができるのですよね。

わが家の子どもが小さいころ、  
今ほど YouTube が充実していなかったため、  
インプット素材として与えていた海外アニメは購入した DVD でした。

予算的に制限があり、  
そんなに多くの枚数を一度に購入することができなかったのですが、  
子どもは「もうこれ見た!新しいのが見たい~!」と不平を言うことなく、  
同じ DVD を一ヶ月の間に何回も見たりしていました。  
(さすがに同じものを連日見るということはありませんでしたが・・・)

子ども自身も自ら積極的に同じ素材を喜んで何度も見てくれていましたが、  
親の私としては反復という観点を大切にするように心がけてきました

### ●かけ流して反復

赤ちゃんが言語習得していく過程で、  
周囲の大人はたくさん赤ちゃんに言葉を語り掛けます。

お子さんに日本語で語り掛けた内容を思い出してもらえれば  
わかりやすいかと思いますが、  
そんなに難しいことやバラエティに富んだ内容を  
毎日日替わりで話しかけていたわけではないと思います。

来る日も来る日も赤ちゃんの反応を見ながら  
同じような内容を繰り返し繰り返し、  
語り掛けていたのではないのでしょうか。

読み聞かせの絵本においても、  
毎日毎日日替わりで、  
同じ服は「徹子の部屋」で二度着ないという黒柳徹子のように  
(この例えいる?)  
二度と同じ絵本は読まない!なんてことはありませんよね?

読み聞かせとは、同じ絵本を何度も  
定期的に読み聞かせしながら楽しむことが一般的かと思います。

このような例から考えても、  
言語習得にも反復という要素が必ず必要なのだと思います。

特に言葉の習得は、  
音の集合体にそれぞれの意味付けを  
重ねていくという作業をしていくということですから、  
一回ポッキリでその作業が完了することを求めるというのは  
現実的ではないのではないかと思います。

そう思うと、  
何度も何度も同じ素材に触れる機会を多く持つように  
意識すべきだと思うのです。

ただ先にも述べたように時間というのは有限であり、  
しかし、できれば言葉を豊かにするために  
可能な限りたくさんの素材を与えたいという相反する願いを叶えるためには  
どうしたらいいのだろうかとも考えました。

そこでわが家が採用したのは、  
何度か見た DVD の音源、何度か読んだ絵本の CD を MP3 プレーヤーに落とし、  
子どもが遊んでいる時間などに BGM のように掛け流すということです。

かけ流して耳から自然に音が入ることで、  
前に見聞きした言葉を再度頭の中で反復してもらおうと思ったのです。

人間の耳は絶えず情報を拾っていますし、  
また拾った言葉は聞いていないようで案外聞いているものです。  
そしてその言葉を脳内に無意識的に思い浮かべてしまうものだと思います。

かけ流しのやり方もいろいろとあるのですが、  
わが家でのかけ流しは反復・復習としての役割であったため、  
かけ流す音源素材は必ず何度か聞いたものであるようにしてきました。

わが家ではおうち英語をもう18年近く続けていますが、  
そのやり方はまだ同じです。

今はインプット素材としてわが家はディズニー+ (プラス) を活用していますが、  
同じドラマ・映画を何度も何度も見えています。

見ることを子どもたちに強要しているわけではなく、  
好きなので何度も見られるんですよね。

他のストーリーとの関連性を再発見するために見たり、  
ただ単純に面白いから見直しているのです。

そして朝食時、朝の身支度の時間や車での移動中など、  
そのドラマや映画をかけ流しとして画面は見ない形で  
音源だけかけ流しておくことをやったりしています。

素材は子どもの成長で変わる趣向に合わせて変わってききましたが、  
その手法はほとんど変わっていません。  
(掛けられる時間は激減していますが💧)

なぜに同じ手法を18年も続けているのかと問われれば、  
当然ですが、それがわが家の子どもたちに一番合う方法で  
効果を感じているからに過ぎません。

### ● No more インプットの垂れ流し!

せっかくインプットを頑張ってきたとしても、  
そのインプットが子どもの中にたまらずに  
右から左へと流れてしまっているだけだとしたら  
それはモッタイナイことです。

お風呂の栓を忘れてお風呂を入れてしまって、  
いざお風呂に入ろうと蓋を開けた時に受けるショックよりもショックですよ。。。

インプットは時間・質・量を考えることが最も大切ですが、  
【インプットの歩留まり率】ということにも考慮に入れた方がいいと思います。

元々人間は忘却の生き物でもあり、  
一度覚えたとしてもすぐに忘れてしまうものです。

そういうことも考慮に入れていくと、  
インプットの歩留まり率というのは限りなく低いものなのかもしれません。

ただでさえ歩留まり率が低いのに、  
無策にジャバジャバと新しいものを次から次へと注ぐだけでは、  
本当に垂れ流しになってしまうかもしれません。

「言語学習は穴の開いたバケツに絶えず水を注ぎ続けるようなもの」  
と例えられることもありますが、完全に穴を塞ぐことはできないものです。

ある一定量が垂れ流しになってしまうことも仕方がないと諦めることは必要ですが、  
少しでも効果的にバケツに溜まるように効率的な方法を  
子どもに合わせて考えていくべきでしょうね。

常にバケツに英語が入っている状態にするためには、  
コツコツと入れ続けることが一番でしょう。

そこに反復という概念も加えれば歩留まり率が良くなってくのではないかなと  
私は思って続けてきました。

【インプットされている言葉の総量の3割しかアウトプットでしか使えない】  
という学説もあるくらいですから  
インプットの歩留まり率はアウトプットに影響してくることはほぼ確定かと・・・。

そうなると、もし一生懸命におうち英語、インプット活動に勤しんでいるのに  
芳しいアウトプットが見られないということであれば  
やはりインプットの歩留まり率に着目し、  
インプットの方法、質を見直していくことは絶対的に必要だと思われます。

現状、アウトプットでお困りの方は  
是非適切な歩留まり率が期待できるインプットが行えているか  
見直してみてください♪